

鵜戸神宮：福注連縄とお祓い

神社に入る時は、参拝者は本殿に向かう前に、清めの儀式を行います。これは、神々に近づく前に、体と心の穢れをきれいにするために行われます。鵜戸神宮では、清めの儀式は二段階で行われます。まず、参拝者は右側にある箱から福注連縄一棒の周りに結われた小さな縄を取り、それで全身を撫でて心を清めます。使った後の福注連縄は、左側の箱に入れます（お土産として持ち帰るのはおやめください）。ここでは、お賽銭を 100 円入れることをお勧めします。次に、参拝者は手水舎へと進みます。水盤には柄杓が置いてあり、体を清めるために手と口を洗います。これが終われば、神社で最も聖なる領域へとつながる神橋を渡る準備が整ったと考えられます。